2017年度第3四半期決算　電話会議　資料

2018年2月14日（水）

立ちどまらない保険。

MS&AD INSURANCE GROUP

MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社

全体目次

2017年度第3四半期決算の概要	
グループ連結	資料1-5
自然災害の状況	資料6-7
国内損害保険会社	資料8-11
国内生命保険会社	資料12-13
海外保険子会社	資料14
2017年度第3四半期決算データ	
三井住友海上（単体）	資料15-17
あいおいニッセイ同和損保（単体）	資料18-20
三井住友海上＋あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）	資料21-23
（参考）MS Amlin 2017年度第3四半期(2017年1-9月期)業績	資料24
（参考）ESRの状況	資料25
2017年度業績予想	**2017年11月17日発表内容**
グループ連結	資料26-32
今回業績予想の主な前提	資料33
三井住友海上（単体）、あいおいニッセイ同和損保（単体）	資料34-39
三井住友海上＋あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）	資料40-42
三井ダイレクト損保、国内生保子会社	資料43-45

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

・MS＆ADホールディングス、持株会社	（＝MS＆ADインシュアランス グループ ホールディングス㈱）
・MS＆AD	（＝MS＆ADインシュアランス グループ）
・三井住友海上、MS	（＝三井住友海上火災保険㈱）
・あいおいニッセイ同和損保、AD	（＝あいおいニッセイ同和損害保険㈱）
・三井ダイレクト損保、MD	（＝三井ダイレクト損害保険㈱）
・三井住友海上あいおい生命、MSA生命	（＝三井住友海上あいおい生命保険㈱）
・三井住友海上プライマリー生命、MSP生命	（＝三井住友海上プライマリー生命保険㈱）
・MS Amlin	（＝MS Amlin plc）
・MS First Capital	（＝MS First Capital Insurance Limited）
・Challenger	（＝Challenger Limited）
・ReAssure	（＝ReAssure Jersey One Limited）

2017年度第3四半期決算の概要

資料1 グループ連結（2017年度第3四半期）①業績の概要 1（トップライン）

- 正味収入保険料は、国内損保が440億円の増収で牽引し、グループ全体では 196億円増収の 2兆 6,282億円。海外保険子会社はMS Amlinを主因に減収となったが、米州・アジアは増収
- 国内生保子会社のグロス収入保険料は、MSP生命における商品ラインの入れ替えを主因に、△139億円の減収

損保子会社

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比	増収率
元受正味保険料（除く収入積立保険料）※	26,661	**27,131**	470	1.8%
正味収入保険料※	26,086	**26,282**	196	0.8%
三井住友海上	11,043	**11,280**	236	2.1%
あいおいニッセイ同和損保	9,051	**9,254**	203	2.2%
三井ダイレクト損保	274	**275**	0	0.3%
海外保険子会社	5,672	**5,437**	△ 235	△ 4.2%

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

生保子会社

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比	増収率
保険料（グロス収入保険料）※	11,310	**11,171**	△ 139	△ 1.2%
三井住友海上あいおい生命	3,490	**3,602**	111	3.2%
三井住友海上プライマリー生命	7,820	**7,568**	△ 251	△ 3.2%
生命保険料	9,355	**7,583**	△ 1,771	△ 18.9%

※ 保険料（グロス収入保険料）は国内生保子会社のみ

MS＆ADホールディングス広報・IR部長の塩野でございます。
本日は、保険セクター各社の決算発表が立て込む中、弊社の決算電話会議にご参加いただき、ありがとうございます。
なお、本日はこうした理由から、通常より15分短い45分間とさせていただきますことをご了承願います。

それでは、「2017年度第3四半期決算　電話会議　資料」と題したスライドの1ページ目、「資料1」をご覧下さい。

損保の正味収入保険料は、海外保険子会社が、引受選別を強化しているMS アムリンなどを主因に減収となりましたが、
米州・アジアは増収、国内損保子会社が440億円の増収となり、
グループ全体では196億円増収の2兆6，282億円となりました。

生命保険子会社のグロス収入保険料は、MSP生命の商品ラインの入れ替えを主因に△139億円減収となりました。

資料2 グループ連結（2017年度第3四半期）①業績の概要 2（ボトムライン）

・四半期純利益は、国内・海外の自然災害ロスの増加に加え、MS Amlinの一般ロスの増加を受け、前期比△53.4%減益の976億円

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比	増減率
経常利益	3,188	**1,617**	△ 1,571	△ 49.3%
三井住友海上	1,689	**1,950**	260	15.4%
あいおいニッセイ同和損保	800	**288**	△ 512	△ 64.0%
三井ダイレクト損保	1	**12**	11	1,070.6%
三井住友海上あいおい生命	130	**132**	1	1.3%
三井住友海上プライマリー生命	487	**423**	△ 63	△ 13.1%
海外保険子会社	393	**△ 828**	△ 1,221	△ 310.9%
その他・連結調整等	△ 314	**△ 361**	△ 46	－
四半期純利益 ※	2,096	**976**	△ 1,120	△ 53.4%
三井住友海上	1,251	**1,501**	250	20.0%
あいおいニッセイ同和損保	563	**190**	△ 372	△ 66.1%
三井ダイレクト損保	△ 0	**10**	10	－
三井住友海上あいおい生命	61	**61**	0	0.1%
三井住友海上プライマリー生命	338	**253**	△ 85	△ 25.2%
海外保険子会社	284	**△ 729**	△ 1,013	△ 356.9%
その他・連結調整等	△ 401	**△ 311**	90	－

※ 連結の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載。子会社の四半期純利益は、出資持分ベース。 以下同じ。

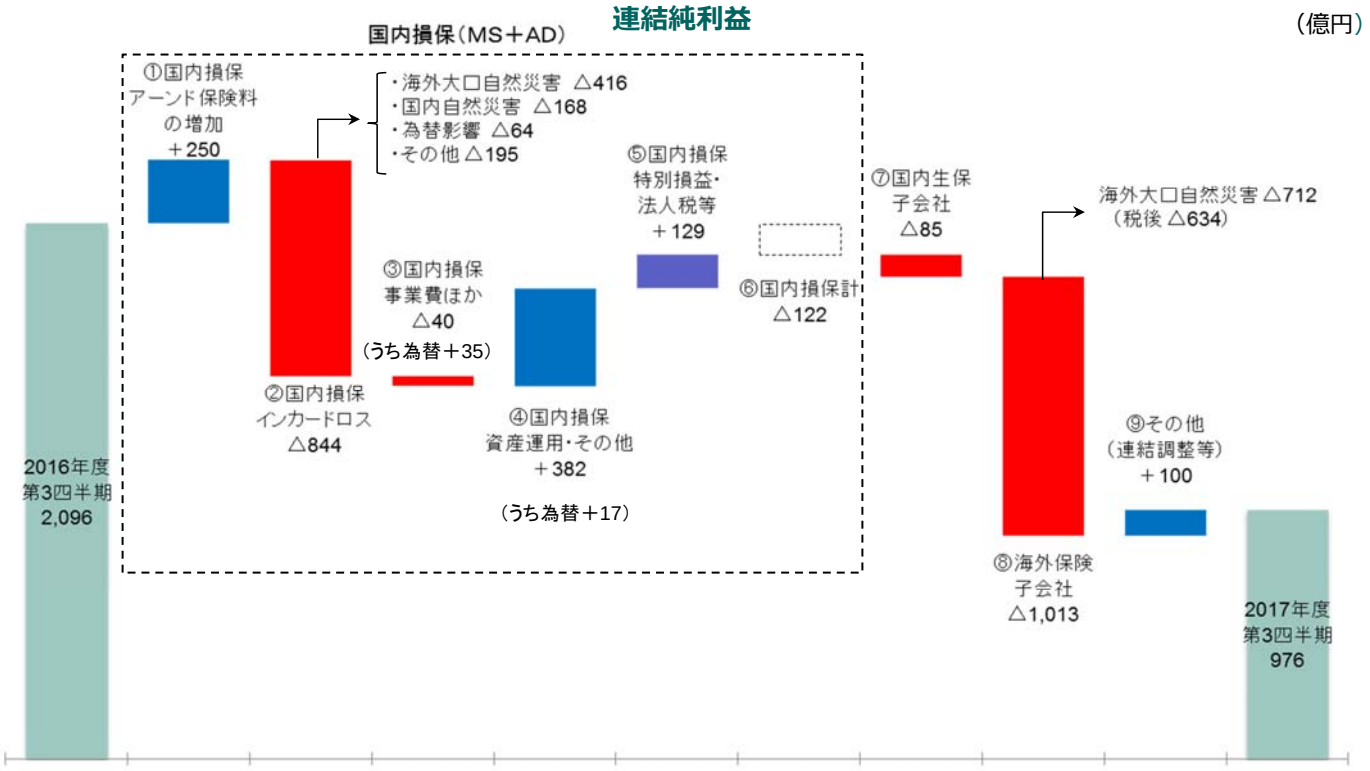
次に、「資料2」をご覧ください。

グループのボトムラインの状況について説明いたします。

四半期純利益は、今期、国内・海外とも自然災害が大幅に想定額を上回ったことや、
「収益力回復取組み」途上のMSアムリンの一般ロス悪化を主因に、
前期比△53．4%の976億円となりました。

資料3 グループ連結（2017年度第3四半期）②前年同期との比較 1

・減益の主因は、国内損保の②インカードロスにおける国内外自然災害の増加と⑧海外保険子会社の海外大口自然災害等の増加
・国内損保における①アーンド保険料の増加と、政策株式の削減進捗による④資産運用損益・その他の増加はプラスに寄与
・⑦国内生保の減益は、MSP生命で、今期から各四半期においても価格変動準備金の追加繰入を行っている為。



次に、「資料3」をご覧ください。

第3四半期純利益の対前年変動要因を説明します。

減益の主因のひとつは、② 番の「国内損保子会社のインカードロス」において、
海外の自然災害が一連の北米自然災害により前期比で　416億円、
国内の自然災害が台風21号を主因に　168億円増加したことによるものです。
もう一つは、MSアムリンにおいて、同様に北米自然災害のロス、
および一般のインカードロス増加などから、⑧番の「海外保険子会社」の四半期純利益が
前期比△1，013億円の減益となったことです。

一方、①番のアーンド保険料は250億円と堅調に増加、
④ 番の資産運用・その他において、政策株式の削減が順調に進んだことにより
売却益が増加しました。

なお、⑦番の国内生保が、85億円のマイナス寄与となっていますが、
これはMSP生命で、金利・為替の変動による損益に対して、
今期から各四半期においても価格変動準備金の追加繰入を行っていることが主因であり、
同社の業績は当期も順調に推移しております。

資料4 グループ連結（2017年度第3四半期）②前年同期との比較 2

四半期純利益の内訳

（億円）

		2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	差額
四半期純利益		**2,096**	**976**	**△ 1,120**
国内損保※1保険引受利益（除く家計地震・自賠責）		1,147	513	**△ 634**
アーンド保険料	①	17,589	17,840	**250**
インカードロス（含む損害調査費）	②	△ 9,886	△ 10,731	**△ 844**
事業費ほか※2	③	△ 6,555	△ 6,595	**△ 40**
資産運用・その他	④	1,342	1,725	**382**
特別損益・法人税等	⑤	△ 675	△ 545	**129**
国内損保計	⑥	1,815	1,692	**△ 122**
国内生保子会社	⑦	399	314	**△ 85**
海外保険子会社	⑧	284	△ 729	**△ 1,013**
連結調整等	⑨	△ 402	△ 301	**100**

※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計
※2「事業費ほか」には、異常危険準備金、為替損益などが含まれる

（空白）

資料5 グループ連結（2017年度第3四半期）③グループコア利益

・グループコア利益は、海外自然災害で△1,404億円の減益となった海外事業を主因に △1,449億円減益の 650億円

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比
グループコア利益 ※1	2,100	**650**	**Δ 1,449**
国内損保事業	1,333	**1,353**	**19**
国内生保事業	398	**314**	**Δ 83**
海外事業	352	**Δ 1,052**	**Δ 1,404**
金融サービス事業/リスク関連事業	16	**34**	**18**
その他経営数値目標			
コンバインド・レシオ（国内損保）※2	91.2%	**90.3%**	**Δ 0.9pt**
MSA生命EV増加額※3			
グループROE ※1,3			

※1 「グループコア利益」、「グループＲＯＥ」の定義は最終ページご参照
※2 「コンバインド・レシオ（国内損保）」は、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井ダイレクト損保の合計
※3 「ＭＳＡ生命ＥＶ増加額」は半期ごと、「グループROE」は年度末に開示

（参考）

グループコア利益 650 ＝ 連結四半期純利益 976 － 株式キャピタル損益 514 － クレジットデリバティブ評価損益 △0 － その他特殊要因※4 △188 ＋ 非連結グループ会社持分利益 △0

※4 のれん償却等△207、特別損益（除く価格変動準備金）＋18

次に、「資料5」をご覧ください。

グループコア利益は、海外自然災害の国内元受分を取り込み△1，404億円の減益となった海外事業を主因に、1，449億円減益の650億円となりました。

資料6 自然災害の状況（2017年度第3四半期）①海外大口自然災害の損害額

・第3四半期決算に織り込んだ海外大口自然災害のインカードロスは、1,277億円

海外大口自然災害のインカードロス

（億円）

	インカードロス				
	北米ハリケーン ※1	カリフォルニア山火事 ※2	その他	合計	税後影響
三井住友海上	10	-	6	16	11
あいおいニッセイ同和損保	304	87	18	410	294
海外子会社	535	249	65	850	769
（うちMS Amlin）	529	249	65	844	765
合　計	849	336	90	1,277	1,076

※1　ハービー、イルマ、マリアの合計
※2　10月、12月発生の合計

次に、海外大口自然災害について、「資料6」をご覧ください。

中間期からは10月と12月に発生したカリフォルニア北部および南部の山火事合計336億円を織り込むとともに、モデルベースで算出した中間時点の見込み損害額を、順次、元受保険会社からの報告に置き換えた結果、第3四半期大口自然災害ロスは1，277億円となりました。

資料7 自然災害の状況（2017年度第3四半期）②国内自然災害に係る影響

・国内自然災害に係るインカードロスは、2社合計で、前期比 168億円増加の 660億円

国内自然災害の影響

	インカードロス		支払保険金		支払備金繰入額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
当年度発生国内自然災害						
三井住友海上	382	53	238	36	143	16
あいおいニッセイ同和損保	277	115	159	38	118	77
合　計	660	168	397	74	262	94

※ 台風21号によるインカードロスは 376億円（MS 203億円、AD 172億円）

（空白）

資料8 国内損害保険会社（2017年度第3四半期）①主要2社の業績概要 1

・正味収入保険料は、火災保険などの増収を主因に、2.2%の増収
・保険引受利益は2社合計で △634億円減益の 513億円。 国内外の自然災害の影響を除けば概ね前期並みの水準

（億円）

	三井住友海上（単体）		あいおいニッセイ同和損保（単体）		2社合計（単純合計）	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
正味収入保険料	11,280	236	9,254	203	20,534	440
正味収入保険料 増収率	2.1%	5.8pt	2.2%	1.9pt	2.2%	4.1pt
正味支払保険金 （ー）	6,053	90	4,842	△ 24	10,896	65
＜インカードロス（含む損害調査費）＞ （ー）	6,941	139	5,873	562	12,814	702
諸手数料及び集金費 （ー）	1,948	60	1,783	91	3,731	151
営業費及び一般管理費（保険引受） （ー）	1,526	33	1,258	△ 44	2,784	△ 10
異常危険準備金反映前保険引受利益	890	△ 135	232	△ 549	1,123	△ 684
異常危険準備金取崩額（△は繰入）	△ 308	41	△ 300	8	△ 609	49
保険引受利益	**581**	**△ 93**	**△ 68**	**△ 540**	**513**	**△ 634**
諸比率						
正味損害率	59.4%	△ 0.4pt	57.3%	△ 1.5pt	58.5%	△ 0.9pt
正味事業費率	30.8%	0.2pt	32.9%	△ 0.2pt	31.7%	0.0pt
コンバインド・レシオ	**90.2%**	**△ 0.2pt**	**90.2%**	**△ 1.7pt**	**90.2%**	**△ 0.9pt**
＜除く家計地震・自賠責＞						
正味損害率	56.6%	0.6pt	54.3%	△ 0.4pt	55.5%	0.1pt
正味事業費率	32.7%	0.2pt	34.5%	△ 0.2pt	33.5%	0.0pt
コンバインド・レシオ	**89.3%**	**0.8pt**	**88.8%**	**△ 0.6pt**	**89.0%**	**0.1pt**

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

次に、国内損保主要2社の保険引受について説明します。
「資料8」右端の、2社合計の列をご参照下さい。

トップラインの正味収入保険料は2．2%の増収となっており、着実に成長しております。
次に、保険引受利益については、△634億円減益の　513億円となっていますが、
自然災害の増加影響など、一過性の要素を除いた利益は堅調な推移となりました。

資料9 国内損害保険会社（2017年度第3四半期）①主要2社の業績概要２

・資産運用･その他収支は、政策株式の売却が2社合計で1,203億円と順調に進み、前期比 382億円増益の 1,725億円

（億円）

	三井住友海上（単体）		あいおいニッセイ同和損保（単体）		2社合計（単純合計）	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険引受利益	**581**	**△ 93**	**△ 68**	**△ 540**	**513**	**△ 634**
ネット利息及び配当金収入	636	73	328	41	965	115
有価証券売却損益	772	246	80	△ 5	853	240
有価証券評価損　（－）	9	8	0	△ 12	10	△ 3
資産運用･その他収支	**1,368**	**354**	**357**	**28**	**1,725**	**382**
経常利益	**1,950**	**260**	**288**	**△ 512**	**2,238**	**△ 251**
特別損益	**21**	**57**	**△ 55**	**4**	**△ 33**	**62**
税引前四半期純利益	**1,972**	**318**	**232**	**△ 507**	**2,204**	**△ 189**
四半期純利益	**1,501**	**250**	**190**	**△ 372**	**1,692**	**△ 122**

	2社合計	
		前年同期比
（参考）政策株式売却額	**1,203**	115

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

次に、「資料9」をご覧ください。資産運用について説明します。

スライド左下にありますとおり、政策株式の削減額は、1，203億円と、
年初計画値である1，200億円の削減を既に達成し、
修正計画値である 1，350億円の削減に向け、順調に進捗しています。
この政策株削減の好調な推移などから、「資産運用･その他」は　1，725億円と、
前期比　382億円増益となりました。

資料10 国内損害保険会社（2017年度第3四半期）②異常危険準備金

・異常危険準備金のネット繰入額は、2社合計で前年同期比△49億円減少の609億円

異常危険準備金

（億円）

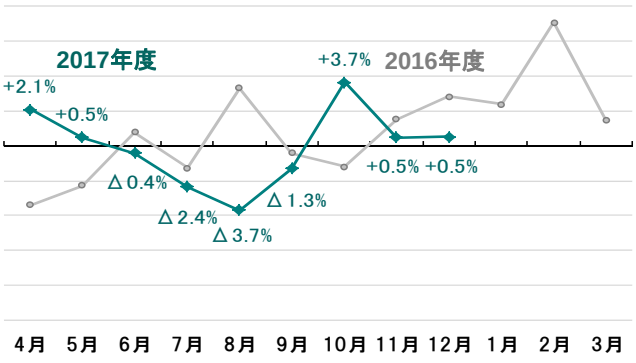
		取崩額	繰入額	ネット繰入額		残高
					前年同期比	
三井住友海上	火 災	77	74	△ 3	△ 41	1,456
	海 上	-	20	20	0	802
	傷 害	-	34	34	1	711
	自 動 車	-	159	159	1	748
	そ の 他	5	103	98	△ 2	1,878
	合 計	**82**	**391**	**308**	**△ 41**	**5,597**
あいおいニッセイ同和損保	火 災	-	107	107	15	1,373
	海 上	-	0	0	0	140
	傷 害	-	14	14	△ 0	666
	自 動 車	31	164	133	△ 23	572
	そ の 他	4	48	43	△ 0	685
	合 計	**35**	**336**	**300**	**△ 8**	**3,437**
2社合計（単純合計）	火 災	77	181	103	△ 26	2,830
	海 上	-	21	21	0	942
	傷 害	-	49	49	0	1,377
	自 動 車	31	324	292	△ 22	1,321
	そ の 他	9	151	142	△ 2	2,563
	合 計	**118**	**728**	**609**	**△ 49**	**9,035**

（空白）

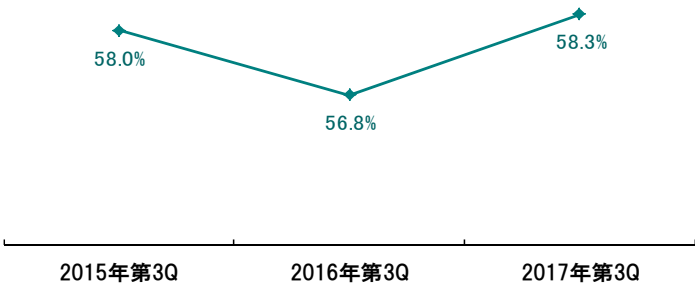
資料11 国内損害保険会社（2017年度第3四半期）③自動車保険の状況

・事故件数は、12月末累計で前年比△0.4%の減少。修理費の上昇等により、対物・車両の保険金単価は引き続き上昇
・EI損害率は、前年同期比1.5pt上昇の58.3%

事故件数の推移（国内, 1日あたり, 対前年同月。除く自然災害）
（MS・AD 2社単純合算ベース）



EI 損害率の推移 （含む損害調査費）
（MS・AD 2社単純合算ベース）



保険料・保険金

三井住友海上

＜国内・営業ﾍﾞｰｽ＞	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	±0%	+0.5%	+0.6%

＜国内＞	対物	車両（除く自然災害）
保険金単価増減	+0.6%	+0.7%

あいおいニッセイ同和損保

＜国内・営業ﾍﾞｰｽ＞	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.9%	Δ 1.1%	Δ 0.1%

＜国内＞	対物	車両（除く自然災害）
保険金単価増減	+1.1%	+1.2%

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース（4－12月）の対前年同期比
※ 保険金単価の増減は、2017年3月末過去1年間の保険金単価に対する、2017年12月末過去1年間の保険金単価の増減を表示
※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-12月
※ 2社合算事故受付件数の2017年7月～9月の前年同月比の推移に誤りがあり修正

次に、「資料１１」をご覧下さい。自動車保険の状況を説明いたします。

左グラフの事故受付件数は年度累計で前期比△０．４%の減少、
下表・下段の車両・対物保険金単価は増加、右グラフのアーンド・インカード損害率は、
５８．３%となりました。

資料12 国内生命保険会社（三井住友海上あいおい生命） 業績概要

・新契約高は、新商品を発売した収入保障保険の大幅な増加を主因に、前年同期比 29.3%増加の 2兆747億円
・四半期純利益は、前期と同水準の 61億円

三井住友海上あいおい生命

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比	増減率
新契約高 （個人合計）	16,051	**20,747**	4,696	29.3%
新契約年換算保険料	336	**292**	△ 43	△ 13.0%
うち 第三分野	113	**103**	△ 10	△ 8.8%
保有契約高 （個人合計）	（期首） 232,142	**237,137**	（期首比） 4,994	2.2%
保有契約年換算保険料	（期首） 4,010	**4,097**	（期首比） 87	2.2%
うち 第三分野	（期首） 884	**945**	（期首比） 61	6.9%
保険料（グロス収入保険料）	3,490	**3,602**	111	3.2%
経常利益	130	**132**	1	1.3%
特別損益	△ 5	**△ 6**	△ 0	―
四半期純利益	61	**61**	0	0.1%
基礎利益	158	**114**	△ 43	△ 27.7%

次にMSA生命の状況について説明します。「資料１２」をご覧ください。

新商品を投入した収入保障保険の好調な売れ行きを主因に、
新契約高が前期比 ＋２９．３%となるなどトップラインは好調です。
また、四半期純利益は、標準利率改定による責任準備金負担の増加はあったものの、
前期と同水準の ６１億円となりました。

資料13 国内生命保険会社（三井住友海上プライマリー生命） 業績概要

・グロス収入保険料は変額保険の販売減少を主因に、前期比 △3.2%減収も、定額保険の販売好調で計画を上回る 7,568億円
・四半期純利益は、価格変動準備金繰入を行った為、前年同期比 △85億円減益も、年間見通しを超える 253億円

三井住友海上プライマリー生命

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比	増減率
新契約高 （個人合計）	7,591	**7,581**	△ 10	△ 0.1%
保有契約高 （個人合計）	（期首） 56,807	**62,470**	（期首比） 5,662	10.0%
保険料（グロス収入保険料）	7,820	**7,568**	△ 251	△ 3.2%
経常利益	487	**423**	△ 63	△ 13.1%
特別損益	△ 17	**△ 72**	△ 55	―
四半期純利益	338	**253**	△ 85	△ 25.2%

金利・為替影響と価格変動準備金

（億円）

金利影響	48	**14**
為替影響	44	**26**
小計	93	**40**
売却益	85	**9**
合計	179	**50**
上記に対応する 価格変動準備金繰入	―	**50**

続いてMSP生命の業績を説明いたします。「資料13」をご覧ください。

グロス収入保険料は、変額保険が減収する一方、定額保険の販売が好調に推移した結果、
前期比で △3．2%減収となりましたが、想定を上回る7，568億円となっております。

四半期純利益は、保有契約増加に伴う利ざや収入の増加なども寄与し、
第3四半期は、金利・為替のプラス影響を価格変動準備金繰入で取り込んだ上で、
既に通期予想を超える 253億円となっています。

また、2月に三井住友銀行で販売を開始した、いわゆるトンチン年金タイプの
「一生涯受け取れる人生応援年金」も好調なスタートを切りました。

資料14 海外保険子会社（2017年度第3四半期）業績概要

・アジアおよび米州は、トップライン・ボトムラインともに前期比で順調に増収・増益
・MS Amlinは、自然災害ロスおよび一般ロスの増加などにより、△1,035億円減益の△849億円

海外保険子会社

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比	増減率
正味収入保険料	5,672	**5,437**	△ 235	△ 4.2%
アジア	1,167	**1,217**	49	4.3%
欧州	4,165	**3,843**	△ 321	△ 7.7%
（うちMS Amlin※）	3,870	**3,520**	△ 350	△ 9.1%
米州	339	**375**	36	10.7%
四半期純利益	284	**△ 729**	△ 1,013	△ 356.9%
アジア	113	**129**	15	13.3%
欧州	150	**△ 885**	△ 1,035	△ 689.3%
（うちMS Amlin※）	186	**△ 849**	△ 1,035	△ 556.0%
米州	19	**26**	6	31.2%

※ 2016年度末にMS Amlinにロイズ・再保険事業を統合しているため、前年同期業績にはMS Amlinに統合された子会社の業績を含めて表示

次に海外保険子会社の状況について説明いたします。「資料１４」をご覧ください。

アジアおよび米州は、為替影響を除いても前年対比で順調に増収・増益しています。
一方、MSアムリンの第3Q末の税後利益は　▲８４９億円となりました。

第2Q末の税後利益　▲４６５億円から、赤字幅が増加した要因は、まず、現地第4四半期に発生した米国カリフォルニア州の２つの山火事を約２５０億円、織り込んだことです。

また、一般種目のロスも、第３四半期で見込んでいた水準を上回りました。
これまでの取組みにより、一部の種目で収支が改善してきたものの、当四半期の個別大ロクレームに加えて、引受開始年度の浅い一部の賠責種目についてIBNRをより保守的に積み増したことなどが理由です。

次にそれぞれの改善取組みですが、まず自然災害リスクについては、2018年1月より、１災害に関わる再保険カバーの発動点の引下げ、同一年度の複数の災害による保有損害額の累積を緩和するカバーの追加設定など、収益の安定性を高めました。

また、これまでの良好な出再 成績のおかげで、これらの再保険プログラムをコストを抑制し更改できたことも、収益力の回復に寄与するものと見込んでいます。

足元の1月の更改状況ですが、北米プロパティの被災のあった契約については、
市場対比でも遜色のない、18%程度の料率引上げが出来ております。
引き続き罹災契約の更改本番となる6月・7月の更改動向を見極めてまいります。

一方、一般種目では、収支が悪化した種目の料率の引上げや、引受条件の変更、悪績チャネルの取引解消などの取組を進めるともに、月次で更改状況、経費や運用も含めた成績動向をモニタリングする体制を構築しています。

これらの厳しい引受条件交渉等の結果、足元の1月の更改全体は目標を上回る 3．8%程度の料率引き上げが実施できています。

2017年度末決算においては、賠責種目を中心により慎重に備金の算定を進めています。
これら一連の取組みを通じて、今後2年での収益回復を見込んでおります。

「資料26」以降に、昨年11月17日に発表いたしました、
2017年度業績予想の資料を付けておりますが、こちらの業績予想に変更はございません。

四半期純利益は、976億円と、海外の大口自然災害の増加を主因に、通期予想　1，450億円に対して進捗率　67%、第3四半期時点では想定から　約200億円下回る状況です。

MSアムリンについては年度決算に向けて今後も備金水準の精査を続けてまいりますので、それによるブレの要素は残りますが、国内損保・国内生保事業は堅調に推移しており、様々な取組みにより、通期予想の　1，450億円の達成を目指してまいります。

また、グループコア利益につきましては、通期予想　1，150億円の達成は厳しい状況ではありますが、株主還元との関係で申し上げれば、10円増配の 130円の配当予想に変更はなく、また、自社株買いについては、資本の状況、株価の状況を見て、機動的に行う方針であることを改めて申し上げておきます。

以上で、私からのご説明を終わります。

資料15 三井住友海上（単体）2017年度第3四半期業績①

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	11,043	**11,280**	236
正味収入保険料 増収率	△3.7%	**2.1%**	5.8pt
正味損害率	59.8%	**59.4%**	△0.4pt
正味事業費率	30.6%	**30.8%**	0.2pt
コンバインド・レシオ	90.4%	**90.2%**	△0.2pt
インカードロス(含む損害調査費)	6,801	**6,941**	139
保険引受利益	675	**581**	△93
資産運用損益	1,043	**1,402**	359
経常利益	1,689	**1,950**	260
特別損益	△ 36	**21**	57
四半期純利益	1,251	**1,501**	250
<除く家計地震・自賠責>			
正味収入保険料 増収率	△3.9%	**2.1%**	6.0pt
正味損害率	56.0%	**56.6%**	0.6pt
正味事業費率	32.5%	**32.7%**	0.2pt
コンバインド・レシオ	88.5%	**89.3%**	0.8pt
インカードロス(含む損害調査費)	5,613	**5,825**	212

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース
※ 「正味損害率」は “リトン・ペイド” ベース

資料16 三井住友海上（単体）2017年度第3四半期業績②

正味収入保険料

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	増収率
火　災	1,366	**1,474**	7.9%
海　上	444	**450**	1.3%
傷　害	1,058	**1,087**	2.7%
自 動 車	4,921	**4,964**	0.9%
自 賠 責	1,385	**1,418**	2.4%
そ の 他	1,866	**1,884**	1.0%
合　計	11,043	**11,280**	2.1%
除く家計地震・自賠責	9,651	**9,857**	2.1%

正味損害率

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比
火　災	73.5%	**64.7%**	△8.8pt
海　上	61.5%	**57.1%**	△4.4pt
傷　害	55.2%	**52.8%**	△2.4pt
自 動 車	56.3%	**58.0%**	1.7pt
自 賠 責	82.8%	**79.4%**	△3.4pt
そ の 他	44.3%	**48.3%**	4.0pt
合　計	59.8%	**59.4%**	△0.4pt
除く家計地震・自賠責	56.0%	**56.6%**	0.6pt

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

資料17 三井住友海上（単体）2017年度第3四半期業績③

インカードロスとＥＩ損害率　（含む損害調査費）

（億円）

	2016年度　第3四半期					2017年度　第3四半期					
	インカードロス (a)	EI損害率	自然災害影響 (b)	(a)-(b)	EI損害率 (除く自然災害影響)	インカードロス (c)	EI損害率	自然災害影響 (d)	(c)-(d)	EI損害率 (除く自然災害影響)	前年同期比
火　災 (除く家計地震)	1,003	62.7%	305	697	43.6%	1,113	**68.0%**	339	773	**47.3%**	3.7pt
海　上	271	58.3%	2	269	57.9%	290	**62.2%**	2	288	**61.6%**	3.7pt
傷　害	570	54.6%	0	570	54.6%	561	**53.0%**	0	561	**53.0%**	△1.6pt
自 動 車	2,824	57.5%	12	2,812	57.3%	2,904	**58.4%**	29	2,874	**57.8%**	0.5pt
そ の 他	943	52.6%	19	923	51.5%	954	**52.0%**	26	928	**50.6%**	△0.9pt
合 計 (A)	5,613	57.2%	339	5,273	53.7%	5,825	**58.4%**	398	5,426	**54.4%**	0.7pt
家計地震 (B)	59		59	―		―		―	―		
自 賠 責 (C)	1,128		―	1,128		1,115		―	1,115		
合計(A)+(B)+(C)	6,801		399	6,401		6,941		398	6,542		

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース
※ インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額
※ EI損害率の分母となるアーンド（既経過）保険料は、未経過保険料（除く自然災害責任準備金）・保険料積立金等を調整して算出
※ 合計(A)は除く家計地震、自賠責
※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外大口自然災害のインカードロスの金額

資料18 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度第3四半期業績①

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	9,051	**9,254**	203
正味収入保険料 増収率	0.3%	**2.2%**	1.9pt
正味損害率	58.8%	**57.3%**	△1.5pt
正味事業費率	33.1%	**32.9%**	△0.2pt
コンバインド・レシオ	91.9%	**90.2%**	△1.7pt
インカードロス(含む損害調査費)	5,310	**5,873**	562
保険引受利益	471	**△68**	△540
資産運用損益	296	**336**	40
経常利益	800	**288**	△512
特別損益	△ 60	**△ 55**	4
四半期純利益	563	**190**	△372
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	0.9%	**2.2%**	1.3pt
正味損害率	54.7%	**54.3%**	△0.4pt
正味事業費率	34.7%	**34.5%**	△0.2pt
コンバインド・レシオ	89.4%	**88.8%**	△0.6pt
インカードロス(含む損害調査費)	4,273	**4,905**	632

※ 「正味損害率」は“リトン・ペイド”ベース

資料19 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度第3四半期業績②

正味収入保険料

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	増収率
火　災	1,126	**1,323**	17.5%
海　上	40	**57**	42.4%
傷　害	471	**470**	△0.2%
自 動 車	5,123	**5,151**	0.5%
自 賠 責	1,252	**1,283**	2.5%
そ の 他	1,036	**968**	△6.6%
合　計	9,051	**9,254**	2.2%
除く家計地震・自賠責	7,794	**7,967**	2.2%

正味損害率

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比
火　災	58.0%	**53.6%**	△4.4pt
海　上	49.7%	**45.8%**	△3.9pt
傷　害	47.4%	**46.9%**	△0.5pt
自 動 車	55.8%	**56.7%**	0.9pt
自 賠 責	81.0%	**76.3%**	△4.7pt
そ の 他	53.0%	**46.2%**	△6.8pt
合　計	58.8%	**57.3%**	△1.5pt
除く家計地震・自賠責	54.7%	**54.3%**	△0.4pt

資料20 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度第3四半期業績③

インカードロスとＥＩ損害率　（含む損害調査費）

（億円）

	2016年度第3四半期					2017年度第3四半期					
	インカードロス (a)	EI損害率	自然災害影響 (b)	(a)−(b)	EI損害率 (除く自然災害影響)	インカードロス (c)	EI損害率	自然災害影響 (d)	(c)−(d)	EI損害率 (除く自然災害影響)	前年同期比
火　災 (除く家計地震)	625	51.8%	141	484	40.1%	1,198	**90.2%**	633	565	**42.5%**	2.4pt
海　上	22	51.6%	-	22	51.6%	41	**80.9%**	6	35	**68.7%**	17.1pt
傷　害	211	46.7%	0	211	46.7%	222	**49.7%**	0	222	**49.6%**	2.9pt
自 動 車	2,851	56.0%	12	2,838	55.8%	2,981	**58.3%**	28	2,953	**57.7%**	1.9pt
そ の 他	561	57.3%	8	553	56.4%	461	**50.0%**	20	441	**47.9%**	△8.5pt
合 計 (A)	4,273	55.0%	162	4,111	52.9%	4,905	**62.4%**	688	4,217	**53.6%**	0.7pt
家計地震 (B)	43		43	―		―		―	―		
自 賠 責 (C)	994		―	994		967		―	967		
合計(A)+(B)+(C)	5,310		205	5,105		5,873		688	5,185		

※ インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額
※ ＥＩ損害率の分母となるアーンド（既経過）保険料は、未経過保険料、保険料積立金等を調整して算出
※ 合計(A) は除く家計地震、自賠責
※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外大口自然災害のインカードロスの金額。ただし、2016年度第3四半期は、国内自然災害に係るンカードロスの金額のみ

資料21 三井住友海上＋あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）①

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	20,094	**20,534**	440
正味収入保険料 増収率	△1.9%	**2.2%**	4.1pt
正味損害率	59.4%	**58.5%**	△0.9pt
正味事業費率	31.7%	**31.7%**	0.0pt
コンバインド・レシオ	91.1%	**90.2%**	△0.9pt
インカードロス(含む損害調査費)	12,112	**12,814**	702
保険引受利益	1,147	**513**	△634
資産運用損益	1,339	**1,739**	400
経常利益	2,490	**2,238**	△251
特別損益	△ 96	**△ 33**	62
四半期純利益	1,815	**1,692**	△122
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	△1.8%	**3.0%**	4.8pt
正味損害率	55.4%	**55.5%**	0.1pt
正味事業費率	33.5%	**33.5%**	0.0pt
コンバインド・レシオ	88.9%	**89.0%**	0.1pt
インカードロス(含む損害調査費)	9,886	**10,731**	844

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース
※「正味損害率」は“リトン・ベイド”ベース

資料22 三井住友海上＋あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）②

正味収入保険料

（億円）

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	増収率
火　災	2,492	**2,797**	12.2%
海　上	484	**507**	4.7%
傷　害	1,530	**1,558**	1.8%
自 動 車	10,045	**10,116**	0.7%
自 賠 責	2,638	**2,701**	2.4%
そ の 他	2,903	**2,852**	△1.7%
合　計	20,094	**20,534**	2.2%
除く家計地震・自賠責	17,446	**17,825**	2.2%

正味損害率

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比
火　災	66.5%	**59.4%**	△7.1pt
海　上	60.6%	**55.9%**	△4.7pt
傷　害	52.8%	**51.0%**	△1.8pt
自 動 車	56.0%	**57.4%**	1.4pt
自 賠 責	81.9%	**77.9%**	△4.0pt
そ の 他	47.4%	**47.6%**	0.2pt
合　計	59.4%	**58.5%**	△0.9pt
除く家計地震・自賠責	55.4%	**55.5%**	0.1pt

資料23 三井住友海上＋あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）③

インカードロスとＥＩ損害率　（含む損害調査費）

（億円）

	2016年度第3四半期					2017年度第3四半期					
	インカードロス (a)	EI損害率	自然災害影響 (b)	(a)-(b)	EI損害率（除く自然災害影響）	インカードロス (c)	EI損害率	自然災害影響 (d)	(c)-(d)	EI損害率（除く自然災害影響）	前年同期比
火　災（除く家計地震）	1,629	58.0%	446	1,182	42.1%	2,311	**78.0%**	973	1,338	**45.1%**	3.0pt
海　上	293	57.7%	2	291	57.3%	332	**64.1%**	9	323	**62.3%**	5.0pt
傷　害	782	52.2%	0	782	52.2%	784	**52.0%**	0	784	**52.0%**	△0.2pt
自 動 車	5,676	56.8%	25	5,650	56.5%	5,886	**58.3%**	57	5,828	**57.8%**	1.3pt
そ の 他	1,505	54.2%	27	1,477	53.2%	1,416	**51.4%**	46	1,370	**49.7%**	△3.5pt
合 計 (A)	9,886	56.2%	501	9,384	53.4%	10,731	**60.2%**	1,087	9,644	**54.1%**	0.7pt
家計地震 (B)	102		102	―		―		―	―		
自 賠 責 (C)	2,122		―	2,122		2,082		―	2,082		
合計(A)+(B)+(C)	12,112		604	11,507		12,814		1,087	11,727		

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額
※ＥＩ損害率の分母となるアーンド（既経過）保険料は、未経過保険料、保険料積立金等を調整して算出
※合計(A) は除く家計地震、自賠責
※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外大口自然災害のインカードロスの金額。ただし、ADの2016年度第3四半期は、国内自然災害に係るインカードロスの金額のみ

資料24（ご参考）MS Amlin 2017年度第3四半期（2017年1-9月期※1）業績

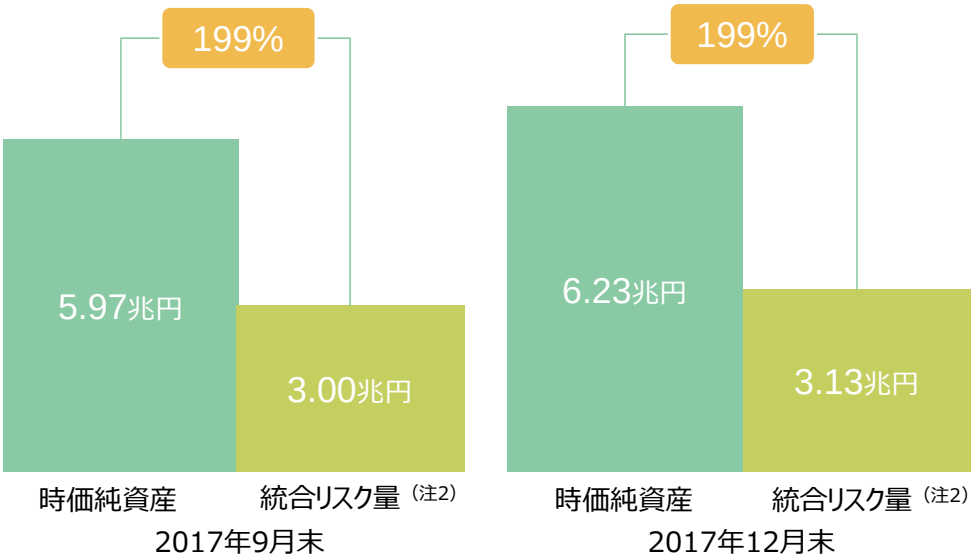
（百万ポンド）

	2016年度※2 第3四半期	2017年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	2,567	**2,450**	**△116**
正味経過保険料	2,127	**2,111**	**△16**
インカードロス(含む損害調査費)	1,290	**2,115**	**825**
手数料・社費	777	**802**	**25**
保険引受利益	113	**△791**	**△905**
資産運用損益※3	122	**167**	**44**
その他損益※4	△73	**△68**	**5**
四半期純利益	123	**△589**	**△713**
E/I 損害率	61%	**100%**	**39pt**
E/I 事業費率※5	34%	**38%**	**4pt**
E/I コンバインド・レシオ※5	95%	**138%**	**43pt**

※1 2017年10月および12月に損害が発生したカリフォルニア山火事にかかるインカードロス(171百万ポンド)を追込み計上
※2 2016年度末にMS Amlinにロイズ・再保険事業を統合しているため、前年同期業績にはMS Amlinに統合された子会社の業績を含めて表示
※3 MS Amlinは有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用
※4 その他損益の主な項目は保険事業会社以外で生じる経費等
※5 E/I 事業費率およびE/I コンバインド・レシオは、現地管理に合わせて保険引受利益に含まれる為替差損益を入れて算出

資料25（ご参考） ESRの状況

ESR(注1)



ESRは、主に以下のような要因により、9月末の水準（199%）を維持。

- ↗ 株価上昇による資産時価の増加(時価純資産の増加)
- ↘ 株価上昇による株式リスクの増加
- ↘ 事業投資（MS First Capital社の買収）に伴う時価純資産の減少とリスクの増加
- ↗ 劣後債の発行による時価純資産の増加
- ↗ 利益の積み上げによる時価純資産の増加
- ↗ 政策株式の売却による株式リスクの減少

＜市場環境前提＞

	2017年9月末	2017年12月末	対9月末
日経平均株価	20,356円	22,765円	+2,409円
為替（ドル円）	113円	113円	▲０円
国債30年金利	0.88%	0.81%	▲０.07pt

（注1）ESR：エコノミック・ソルベンシー・レシオ（＝時価純資産÷統合リスク量）
（注2）統合リスク量：信頼水準99.5%のVaR（Value at Risk）でリスク量を計測。

以降のスライドに、2017年度業績予想（2017.11.17 発表）の資料を掲載しています。

2017年度業績予想

資料26 グループ連結　2017年度業績予想 ①

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

損保子会社

（億円）

	2016年度	2017年度（年初予想）	2017年度（今回予想）			
				前期比	増収率	年初予想比
正味収入保険料※	34,069	34,500	**34,500**	430	1.3%	-
三井住友海上	14,696	14,880	**14,930**	233	1.6%	50
あいおいニッセイ同和損保	12,005	12,190	**12,220**	214	1.8%	30
三井ダイレクト損保	376	388	**380**	3	1.0%	△ 8
海外保険子会社	6,931	7,000	**6,920**	△ 11	△ 0.2%	△ 80

※ 正味収入保険料は、自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

生保子会社

（億円）

	2016年度	2017年度（年初予想）	2017年度（今回予想）			
				前期比	増収率	年初予想比
保険料（グロス収入保険料）※	15,500	12,943	**13,910**	△ 1,590	△ 10.3%	967
三井住友海上あいおい生命	4,789	4,943	**4,910**	120	2.5%	△ 33
三井住友海上プライマリー生命	10,711	8,000	**9,000**	△ 1,711	△ 16.0%	1,000
生命保険料	12,531	9,490	**10,000**	△ 2,531	△ 20.2%	510

※ 保険料（グロス収入保険料）は国内生保子会社のみ

資料27 グループ連結　2017年度業績予想 ②

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

（億円）

	2016年度	2017年度（年初予想）	2017年度（今回予想）		
				前期比	年初予想比
経常利益	3,526	3,450	**2,380**	△ 1,146	△ 1,070
三井住友海上	2,155	2,250	**2,300**	144	50
あいおいニッセイ同和損保	751	700	**460**	△ 291	△ 240
当期純利益※	2,104	2,450	**1,450**	△ 654	△ 1,000
三井住友海上	1,645	1,660	**1,720**	74	60
あいおいニッセイ同和損保	503	490	**300**	△ 203	△ 190
三井ダイレクト損保	△ 9	2	**2**	11	-
三井住友海上あいおい生命	45	30	**30**	△ 15	-
三井住友海上プライマリー生命	207	140	**220**	12	80
海外保険子会社	240	450	**△ 410**	△ 650	△ 860
その他・連結調整等	△ 529	△ 322	**△ 412**	117	△ 90
ROE（財務会計ベース）	7.8%	8.9%	**5.1%**	△ 2.7pt	△ 3.8pt

※連結の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益。 子会社の当期純利益は、出資持分ベース。 以下同じ。

資料28 グループ連結　2017年度業績予想 ③

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

・海外子会社のうちMS Amlinは、通期で自然災害ロス788億円（税後710億円）を見込む。また、全体のロス悪化に伴い保守的に備金を積み増し

正味収入保険料

（億円）

	2016年度	2017年度（年初予想）	2017年度（今回予想）		
				前期比	年初予想比
海外子会社　合計	6,931	7,000	**6,920**	△ 11	△ 80
アジア	1,545	1,615	**1,612**	65	△ 3
欧州	4,931	4,888	**4,807**	△ 124	△ 82
（うちMS Amlin）	4,558	4,481	**4,397**	△ 161	△ 84
米州	454	497	**502**	47	5

当期純利益

（億円）

	2016年度	2017年度（年初予想）	2017年度（今回予想）		
				前期比	年初予想比
海外子会社　合計	240	450	**△ 410**	△ 650	△ 860
アジア	132	133	**143**	9	10
欧州	77	291	**△ 577**	△ 654	△ 868
（うちMS Amlin）	123	301	**△ 550**	△ 673	△ 851
米州	30	26	**24**	△ 6	△ 1

※ MS Amlinの数値は、ロイズ・再保険事業統合後ベース。
2016年度は、統合前のロイズと再保険会社の業績の単純合算値を記載。

資料29 グループ連結　2017年度業績予想 ④
国内外の自然災害インカードロス

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

・国内外の自然災害インカードロス

（億円）

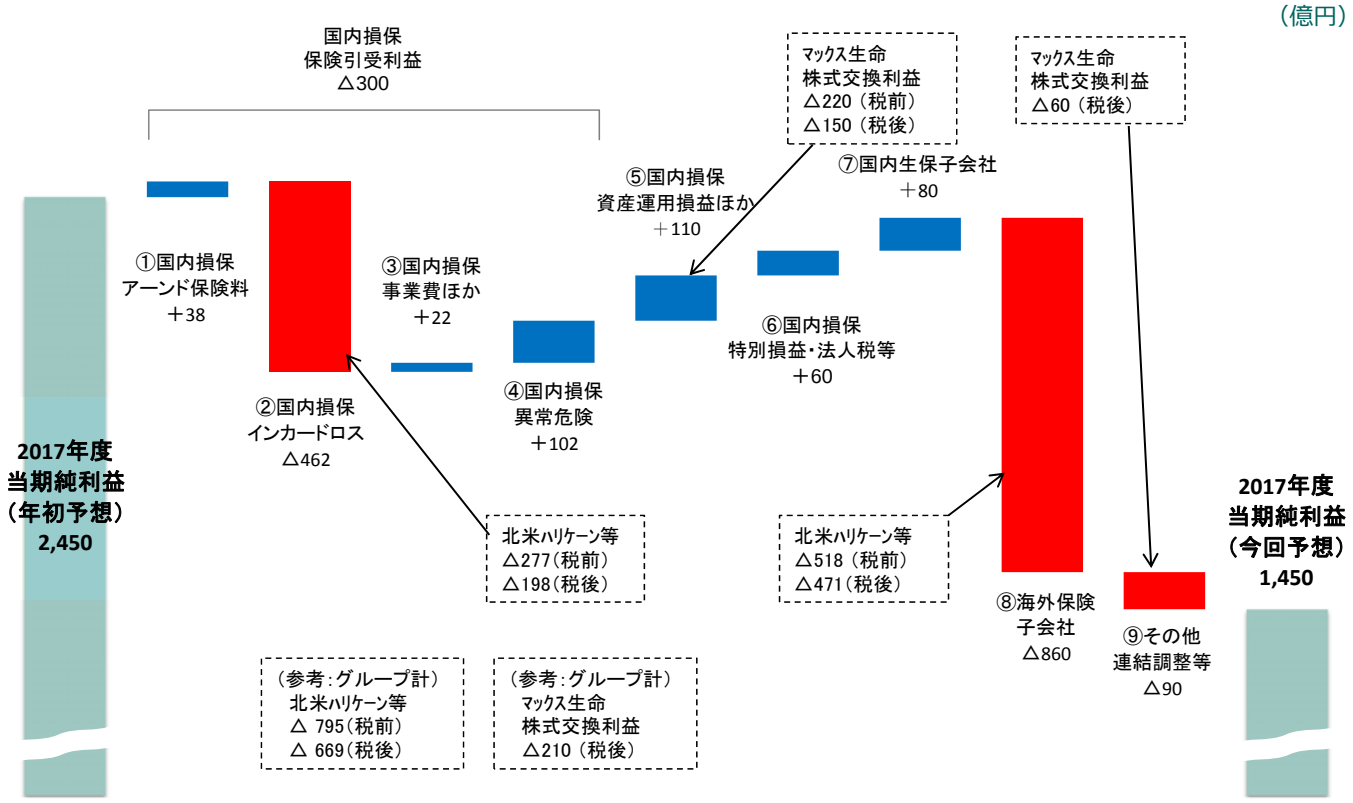
	インカードロス			大口ロス 年初予想額（参考）
	上期計上額	下期予想額	合計	
＜国内＞				
国内自然災害計	**248**	**422**	**670**	**500**
＜海外＞				
ハリケーン・ハービー	212		212	
ハリケーン・イルマ	389		389	
ハリケーン・マリア	225		225	
メキシコ地震	47		47	
カリフォルニア山火事		177	177	
北米ハリケーン等計	**874**	**177**	**1,050**	**255**
合　計	1,122	599	1,720	755
〈参考〉MS Amlinの状況				
北米ハリケーン等	572	166	738	
その他の自然災害（豪州サイクロン等）			50	
合計			788	225

（税後影響　710）

資料30 グループ連結　2017年度業績予想 ⑤業績予想の増減要因

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

連結純利益の年初予想比増減要因



※ 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の単純合計

資料31 グループ連結　2017年度業績予想 ⑥

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

（億円）

	2016年度	2017年度（年初予想）	2017年度（今回予想）		
				前期比	年初予想比
グループコア利益	2,137	2,300	**1,150**	△ 987	△ 1,150
国内損保事業	1,533	1,450	**1,490**	△ 43	40
国内生保事業	251	170	**250**	△ 1	80
海外事業	346	640	**△ 630**	△ 976	△ 1,270
金融サービス事業/リスク関連事業	5	40	**40**	34	-
その他経営数値目標					
コンバインドレシオ（国内損保）	92.6%	92.9%	**92.6%**	-	△ 0.3pt
MSA生命EV増加額	1,984	500	**500**	△ 1,484	-
グループROE	7.9%	8.4%	**4.0%**	△ 3.9pt	△ 4.4pt

資料32 グループ連結　異常危険準備金　2017年度業績予想 ⑦

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

異常危険準備金

（億円）

		取崩額	繰入額	ネット繰入額		残高
					年初予想比	
三井住友海上	火 災	166	97	△ 69	△ 106	1,391
	海 上	5	27	22	△ 5	804
	傷 害	-	46	46	0	723
	自 動 車	-	211	211	3	801
	そ の 他	14	136	122	△ 8	1,902
	合 計	**185**	**518**	**333**	**△ 116**	**5,621**
あいおいニッセイ同和損保	火 災	50	142	92	△ 12	1,357
	海 上	-	1	1	-	140
	傷 害	-	20	20	1	671
	自 動 車	131	219	88	18	526
	そ の 他	2	65	63	7	704
	合 計	**183**	**447**	**264**	**14**	**3,400**
2社合計（単純合計）	火 災	216	239	23	△ 118	2,749
	海 上	5	28	23	△ 5	944
	傷 害	-	66	66	1	1,394
	自 動 車	131	430	299	21	1,328
	そ の 他	16	201	185	△ 1	2,607
	合 計	**368**	**965**	**597**	**△ 102**	**9,022**

資料33 今回業績予想の主な前提

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

		三井住友海上		あいおいニッセイ同和損保	
市場環境の前提		**2017年9月末の水準を想定** （参考（2017年9月末） 日経平均 20,356円、米ドル 113円、ユーロ 133円、英ポンド 151円）			
当年度発生国内自然災害		**410億円**	（+ 110億円）	**260億円**	（+ 60億円）
異常危険準備金（火災保険）	繰入	**97億円**	（△ 76億円）	**142億円**	（+ 1億円）
	取崩	**166億円**	（+ 31億円）	**50億円**	（+ 13億円）
	積増	**△ 69億円**	（△ 106億円）	**92億円**	（△ 12億円）
異常危険準備金（自動車保険）	繰入	**211億円**	（+ 3億円）	**219億円**	（－）
	取崩	**－**	（－）	**131億円**	（△ 18億円）
	積増	**211億円**	（+ 3億円）	**88億円**	（+ 18億円）
法定実効税率		**28.2%**			

※（）内は年初予想比

資料34 三井住友海上（単体）2017年度業績予想①

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

（億円）

	2016年度	2017年度（年初予想）	2017年度（今回予想）		
				前期比	年初予想比
正味収入保険料	14,696	14,880	**14,930**	233	50
正味収入保険料 増収率	△2.5%	1.2%	**1.6%**	4.1pt	0.4pt
正味損害率	61.2%	60.3%	**60.5%**	△ 0.7pt	0.2pt
正味事業費率	31.2%	31.6%	**31.5%**	0.3pt	△ 0.1pt
コンバインド・レシオ	92.4%	91.9%	**92.0%**	△ 0.4pt	0.1pt
インカードロス(含む損害調査費)	8,930	8,918	**9,056**	125	138
保険引受利益	817	820	**810**	△ 7	△ 10
資産運用損益	1,394	1,476	**1,552**	158	77
経常利益	2,155	2,250	**2,300**	144	50
特別損益	△ 70	△ 27	**9**	80	36
当期純利益	1,645	1,660	**1,720**	74	60
〈除く家計地震・自賠責〉					
正味収入保険料 増収率	△2.9%	1.7%	**2.0%**	4.9pt	0.3pt
正味損害率	58.0%	57.2%	**57.6%**	△ 0.4pt	0.4pt
正味事業費率	33.2%	33.5%	**33.4%**	0.2pt	△ 0.1pt
コンバインド・レシオ	91.2%	90.7%	**91.0%**	△ 0.2pt	0.3pt
インカードロス(含む損害調査費)	7,384	7,410	**7,562**	176	151

※自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース
※「正味損害率」は "リトン・ベイド" ベース

資料35 三井住友海上（単体）2017年度業績予想②

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

正味収入保険料

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			増収率
火 災	1,838	**1,932**	5.1%
海 上	586	**577**	△1.6%
傷 害	1,435	**1,457**	1.5%
自 動 車	6,541	**6,600**	0.9%
自 賠 責	1,868	**1,842**	△1.4%
そ の 他	2,425	**2,521**	3.9%
合 計	14,696	**14,930**	1.6%
除く家計地震・自賠責	12,820	**13,082**	2.0%

※ 自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

正味損害率

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
火 災	72.0%	**67.3%**	△ 4.7pt
海 上	61.3%	**62.5%**	1.2pt
傷 害	54.3%	**52.7%**	△ 1.6pt
自 動 車	57.3%	**58.6%**	1.3pt
自 賠 責	80.3%	**81.4%**	1.1pt
そ の 他	52.9%	**48.9%**	△ 4.0pt
合 計	61.2%	**60.5%**	△ 0.7pt
除く家計地震・自賠責	58.0%	**57.6%**	△ 0.4pt

インカードロス（除く家計地震・自賠責）

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
インカードロス（含む損害調査費）※1	7,384	**7,562**	176
自然災害※2	343	**420**	76
自然災害以外	7,041	**7,141**	99

※1 インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額
※2「自然災害」は、当年度発生国内自然災害および北米ハリケーン等の金額

資料36 三井住友海上（単体）2017年度業績予想③

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

社費・手数料

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
保険引受社費	2,066	2,128	61
損害調査費	878	885	6
その他	109	115	5
社費合計	3,054	3,129	74
人件費	1,677	1,697	20
物件費	1,252	1,306	53
税金・拠出金等	124	125	0
諸手数料及び集金費	2,517	2,572	54

事業費率

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
正味手数料率	17.1%	17.2%	0.1pt
正味社費率	14.1%	14.3%	0.2pt
正味事業費率	31.2%	31.5%	0.3pt
除く家計地震・自賠責	33.2%	33.4%	0.2pt

資産運用損益の概要

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
利息及び配当金収入	1,167	1,030	△138
積立保険料等運用益振替	△ 355	△ 320	35
ネット利息及び配当金収入	812	710	△102
有価証券売却損益	672	878	205
有価証券評価損	△4	△10	△4
その他（含む投資経費）	△ 86	△ 26	60
資産運用損益	1,394	1,552	158

利息及び配当金収入の主な内訳

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
公社債	194	188	△7
株式	435	431	△4
外国証券	380	257	△122
その他有価証券	32	39	7
貸付金等	125	114	△11
合計	1,167	1,030	△138

資料37 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度業績予想①

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

（億円）

	2016年度	2017年度（年初予想）	2017年度（今回予想）		
				前期比	年初予想比
正味収入保険料	12,005	12,190	**12,220**	214	30
正味収入保険料 増収率	0.7%	1.5%	**1.8%**	1.1pt	0.3pt
正味損害率	59.1%	60.2%	**59.7%**	0.6pt	△ 0.5pt
正味事業費率	33.5%	33.7%	**33.7%**	0.2pt	0.0pt
コンバインド・レシオ	92.6%	93.9%	**93.4%**	0.8pt	△ 0.5pt
インカードロス(含む損害調査費)	7,246	7,402	**7,678**	431	276
保険引受利益	395	410	**120**	△ 275	△ 290
資産運用損益	322	280	**320**	△ 2	40
経常利益	751	700	**460**	△ 291	△ 240
特別損益	△ 83	△ 37	**△ 67**	16	△ 30
当期純利益	503	490	**300**	△ 203	△ 190
<除く家計地震・自賠責>					
正味収入保険料 増収率	1.0%	2.2%	**2.4%**	1.4pt	0.2pt
正味損害率	55.6%	57.0%	**56.8%**	1.2pt	△ 0.2pt
正味事業費率	35.2%	35.4%	**35.4%**	0.2pt	0.0pt
コンバインド・レシオ	90.8%	92.4%	**92.2%**	1.4pt	△ 0.2pt
インカードロス(含む損害調査費)	5,910	6,074	**6,382**	471	308

※「正味損害率」は “リトン・ペイド” ベース

資料38 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度業績予想②

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

正味収入保険料

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			増収率
火　災	1,530	**1,719**	12.3%
海　上	54	**75**	37.2%
傷　害	614	**615**	0.2%
自 動 車	6,804	**6,832**	0.4%
自 賠 責	1,687	**1,659**	△1.7%
そ の 他	1,313	**1,320**	0.5%
合　計	12,005	**12,220**	1.8%
除く家計地震・自賠責	10,312	**10,557**	2.4%

正味損害率

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
火　災	56.2%	**61.7%**	5.5pt
海　上	48.0%	**48.0%**	0.0pt
傷　害	48.6%	**47.3%**	△ 1.3pt
自 動 車	56.8%	**58.4%**	1.6pt
自 賠 責	77.9%	**78.1%**	0.2pt
そ の 他	55.6%	**47.0%**	△ 8.6pt
合　計	59.1%	**59.7%**	0.6pt
除く家計地震・自賠責	55.6%	**56.8%**	1.2pt

インカードロス（除く家計地震・自賠責）

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
インカードロス（含む損害調査費）※1	5,910	**6,382**	471
自然災害※2	167	**557**	389
自然災害以外	5,742	**5,825**	82

※1 インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額
※2「自然災害」は、当年度発生国内自然災害および北米ハリケーン等の金額

資料39 あいおいニッセイ同和損保（単体） 2017年度業績予想③

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

社費・手数料

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
保険引受社費	1,783	1,760	△23
損害調査費	608	608	△0
その他	85	101	15
社費合計	2,476	2,469	△7
人件費	1,236	1,278	41
物件費	1,130	1,078	△52
税金・拠出金等	109	113	3
諸手数料及び集金費	2,238	2,353	114

事業費率

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
正味手数料率	18.6%	19.3%	0.7pt
正味社費率	14.9%	14.4%	△0.5pt
正味事業費率	33.5%	33.7%	0.2pt
除く家計地震・自賠責	35.2%	35.4%	0.2pt

資産運用損益の概要

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
利息及び配当金収入	554	542	△12
積立保険料等運用益振替	△ 173	△ 172	1
ネット利息及び配当金収入	380	370	△10
有価証券売却損益	90	69	△21
有価証券評価損	△49	△15	34
その他（含む投資経費）	△ 99	△ 104	△4
資産運用損益	322	320	△2

利息及び配当金収入の主な内訳

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
公社債	99	98	△1
株式	176	184	7
外国証券	177	168	△9
その他有価証券	25	18	△7
貸付金等	75	74	△1
合計	554	542	△12

資料40 三井住友海上＋あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

（億円）

	2016年度	2017年度（年初予想）	2017年度（今回予想）		
				前期比	年初予想比
正味収入保険料	26,702	27,070	**27,150**	447	80
正味収入保険料 増収率	△1.1%	1.4%	**1.7%**	2.8pt	0.3pt
正味損害率	60.2%	60.2%	**60.1%**	△ 0.1pt	△ 0.1pt
正味事業費率	32.2%	32.5%	**32.5%**	0.3pt	0.0pt
コンバインド・レシオ	92.4%	92.7%	**92.6%**	0.2pt	△ 0.1pt
インカードロス(含む損害調査費)	16,176	16,320	**16,734**	557	414
保険引受利益	1,213	1,230	**930**	△ 283	△ 300
資産運用損益	1,716	1,756	**1,872**	155	116
経常利益	2,907	2,950	**2,760**	△ 147	△ 190
特別損益	△ 154	△ 64	**△ 58**	96	5
当期純利益	2,149	2,150	**2,020**	△ 129	△ 130
<除く家計地震・自賠責>					
正味収入保険料 増収率	△1.2%	1.9%	**2.2%**	3.4pt	0.3pt
正味損害率	56.9%	57.1%	**57.2%**	0.3pt	0.1pt
正味事業費率	34.1%	34.3%	**34.3%**	0.2pt	0.0pt
コンバインド・レシオ	91.0%	91.4%	**91.5%**	0.5pt	0.1pt
インカードロス(含む損害調査費)	13,295	13,484	**13,944**	647	459

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース
※「正味損害率」は "リトン・ベイド" ベース

資料41 三井住友海上＋あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

正味収入保険料

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			増収率
火　災	3,369	**3,651**	8.4%
海　上	641	**652**	1.7%
傷　害	2,049	**2,072**	1.1%
自 動 車	13,346	**13,432**	0.6%
自 賠 責	3,556	**3,501**	△1.5%
そ の 他	3,739	**3,841**	2.7%
合　計	26,702	**27,150**	1.7%
除く家計地震・自賠責	23,132	**23,639**	2.2%

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

正味損害率

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
火　災	64.8%	**64.7%**	△ 0.1pt
海　上	60.1%	**60.9%**	0.8pt
傷　害	52.6%	**51.1%**	△ 1.5pt
自 動 車	57.0%	**58.5%**	1.5pt
自 賠 責	79.1%	**79.8%**	0.7pt
そ の 他	53.8%	**48.2%**	△ 5.6pt
合　計	60.2%	**60.1%**	△ 0.1pt
除く家計地震・自賠責	56.9%	**57.2%**	0.3pt

インカードロス（除く家計地震・自賠責）

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
インカードロス（含む損害調査費）※1	13,295	**13,944**	647
自然災害※2	510	**977**	466
自然災害以外	12,784	**12,966**	181

※1 インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額
※2「自然災害」は、当年度発生国内自然災害および北米ハリケーン等の金額

資料42 三井住友海上＋あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

社費・手数料

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
保険引受社費	3,849	3,888	38
損害調査費	1,486	1,493	6
その他	194	216	21
社費合計	5,531	5,598	66
人件費	2,913	2,975	61
物件費	2,383	2,384	0
税金・拠出金等	233	238	4
諸手数料及び集金費	4,755	4,925	168

事業費率

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
正味手数料率	17.8%	18.1%	0.3pt
正味社費率	14.4%	14.3%	△0.1pt
正味事業費率	32.2%	32.5%	0.3pt
除く家計地震・自賠責	34.1%	34.3%	0.2pt

資産運用損益の概要

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
利息及び配当金収入	1,722	1,572	△150
積立保険料等運用益振替	△ 528	△ 492	36
ネット利息及び配当金収入	1,193	1,080	△113
有価証券売却損益	763	947	183
有価証券評価損	△54	△25	29
その他（含む投資経費）	△ 185	△ 130	55
資産運用損益	1,716	1,872	155

利息及び配当金収入の主な内訳

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
公社債	294	286	△8
株式	612	615	3
外国証券	557	425	△131
その他有価証券	57	57	△0
貸付金等	200	188	△12
合計	1,722	1,572	△150

資料43 三井ダイレクト損保　2017年度業績予想

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

主要項目

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			前期比
正味収入保険料	376	380	3
正味収入保険料 増収率	3.0%	1.0%	△2.0pt
経常利益	△9	4	13
当期純利益（当社持分）	△9	2	11

資料44　三井住友海上あいおい生命　2017年度業績予想

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

主要項目

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			増減率/前期比
新契約高※	23,771	25,396	6.8%
新契約年換算保険料※	517	388	△25.0%
保有契約高※	232,142	237,011	2.1%
保有契約年換算保険料※	4,010	4,118	2.7%
保険料（グロス収入保険料）	4,789	4,910	120
経常利益	161	129	△33
当期純利益	45	30	△15

※新契約高、新契約年換算保険料、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険・個人年金保険の合計

資料45 三井住友海上プライマリー生命　2017年度業績予想

2017年度業績予想
（2017.11.17 発表）内容

主要項目

（億円）

	2016年度	2017年度（今回予想）	
			増減率/前期比
新契約高	10,322	9,019	△ 12.6%
保有契約高	56,807	62,600	10.2%
保険料（グロス収入保険料）	10,711	9,000	△ 1,711
経常利益	576	444	△ 132
当期純利益	207	220	12

「グループコア利益」 の定義

グループコア利益 ＝ 連結当期利益 － 株式キャピタル損益（売却損益等） － クレジットデリバティブ評価損益 － その他特殊要因
＋ 非連結グループ会社持分利益

グループROE ＝ グループコア利益 ÷ 連結純資産（期初・期末平均、除く新株予約権・非支配株主持分）

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、ＭＳ＆ＡＤホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS＆AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・ＩＲ部

TEL: 03-5117-0311
URL: http://www.ms-ad-hd.com/contact/index.html